

会長方針

「奉仕を通じて絆を深めよう」

2012-13年度 会長 大浦 純平

2012-2013年度RIテーマは「奉仕を通じて平和を(Peace Through Service)」であり、2700地区のテーマは「より理解を深め 善意の輪を広げよう」です。

田中作次RI会長は、ロータリーの究極の目的は地域社会ならびに世界に平和をもたらすことにあり、その為にロータリアンやロータリークラブは“超私の奉仕”の理念の下に様々な奉仕活動を積極的に行うことが大切であると強調しておられます。

より良い社会や世界の実現のためにロータリアン一人ひとりが家庭生活においても、仕事の上においても、社会生活においても利他の精神で人の為、世の為になることを積極的に行って欲しいという世界のロータリアンに対する強いメッセージであります。

井手英和2700地区ガバナーは、現在ロータリーが抱えている諸問題を勘案して、まずは奉仕の実践前に「ロータリーについての理解を深め、クラブの活性化を図る」ことが最も大切であると考えておられ、「クラブの活性化」が進めば、自然と善意の輪が広がり奉仕の実践へと結びついて行くものとの思いでテーマを掲げられました。

私が上記テーマを基盤として会長職を全うしなければならないのは当然のことではあります。それには、会員の皆様の強い絆があって下支えをして下さることが必要不可欠なことだと思います。幸いにも、我がクラブではテーブル会が定着し、夜間例会も定期的に開かれ会員相互の親睦を深める機会には恵まれていますし、同好会活動も活発に行われています。お陰様で例会も和気藹々とした素晴らしい雰囲気が醸し出されているのではないのでしょうか。今後もこの良い習慣を大切にしていかなければなりません。その上で申し上げますが、井出ガバナーの「クラブの活性化」の域にどうアプローチするのかを考えた時、今の良い雰囲気に更にあと一塩加えることができると思っています。

そのために、連綿と引き継がれてきた各奉仕委員会活動において、これまでも増して、各委員長の熱心なリードと、それに呼応する委員各位の積極性を発揮いただくことをお願い致します。また、今年度は当クラブの創立30周年にあたります、実行委員会が組織され周年行事の準備が進めらることになりますが、これは将にクラブ奉仕に他なりません。併せて、記念事業として意義ある奉仕活動が企画実践されることでロータリアンとしての誇りを共有できることを期待致します。

ロータリアンの奉仕委員会活動は、五大奉仕、即ち、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕の実現に向かう哲学的及び実際的な基準とされています。皆様の活発な委員会活動が「ロータリーの理解を深め、クラブの活性化を図る」ことになると確信しています。そして、その活発な奉仕活動を通じて会員相互の関係性は密になり、絆を深めることに繋がるでしょう。絆が深まれば奉仕への動機は一層強まり、さらに充実した奉仕が期待されるのではないのでしょうか。私は、皆様と共に『奉仕を通じて絆を深めよう』をクラブテーマとさせて頂き、意義ある楽しい一年にしたいと存じます。ご協力をよろしくお願い致します。